

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
木村 勇貴

成田・関空にTime-Critical Logistics Hubを構築し、日本の緊急物流インフラを担う

私たちは「物流の機会損失をなくす」を使命に、航空機部品、医薬品、自動車部品、船舶部品など、一刻を争う貨物を24時間365日、世界へ届けてきました。
売上高100億円は、会社を大きくすること自体が目的ではありません。人・拠点・車両・システムへの投資を通じて、日本発のTime-Critical Logisticsをより強固な社会インフラへと進化させ、物流が理由で企業や人の挑戦が止まることのない世界を実現します。
そして、事業の成長を社員の専門性、待遇、挑戦機会の向上につなげ、「挑戦が報われる世界」を会社の内外で実現していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年に売上高100億円を達成する。2025年売上高19.8億円から年平均約22%の成長を目指す。既存の緊急輸送事業の持続的成長に加え、2028年以降は国内物流拠点・自社輸送機能の整備、専門物流領域の拡大、海外事業の成長を加速させ、100億円企業への転換を実現する。

課題

- ①24時間365日のサービス品質を維持しながら事業規模を拡大するための、専門人材の採用・育成と標準化・属人化解消
- ②航空会社の減便、災害、地政学リスク等に左右されない、輸送ルート・海外拠点・協力ネットワークの多重化
- ③売上100億円規模に対応できる管理部門、内部統制、財務、人事、IT・データ基盤の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①航空機部品、船舶部品、医薬品、防衛、展示会等、時間価値と専門性が求められる高付加価値物流領域を拡大する
- ②成田空港・関西空港周辺に自社物流拠点と自社輸送車両を整備し、保管・通関・緊急輸送までを24時間一貫して提供できるTime-Critical Logistics Hubを構築する
- ③中国をはじめとする海外拠点と世界各国のパートナーネットワークを強化し、日本を起点としたグローバルな緊急物流サービスを拡大する

実施体制

- ①代表取締役を責任者とする成長戦略推進体制を構築し、100億円達成に向けた投資・事業・人材計画を継続的に管理する
- ②日本・中国を中心とした24時間365日のオペレーション体制を高度化し、専門分野ごとの人材育成と標準化を進める
- ③事業拡大に合わせて営業、オペレーション、通関、管理部門の責任者層を強化し、権限移譲による自律的な組織運営体制を構築
- ④財務・人事・法務・IT・内部統制等の経営基盤を強化し、金融機関や各分野の専門家とも連携しながら、大規模投資と持続的成長を支える体制を整備する



東京本社オフィス

- 本社所在地：東京都港区
- 事業概要：Time-Critical Logistics（緊急輸送）、国際航空輸送、ハンドキャリー、通関、特殊物流
- 常時使用する従業員：21名
（2026年10月時点）
- 現在の売上高：19.8億円
（2025年11月期）
- 法人番号：2040001098086
- Web：https://optec-exp.com

売上高100億円実現の課題及び具体的措置

売上高100億円実現の目標と課題—課題（続き）

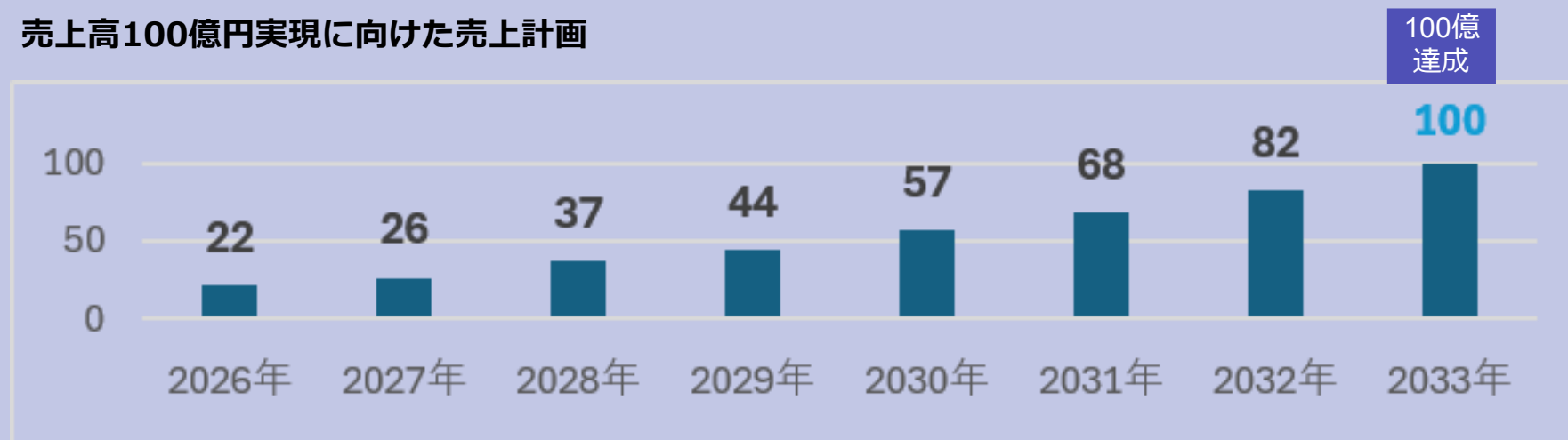
④NFO・OBCを中心とした既存事業から、航空機部品、船舶部品、医薬品等の専門物流、倉庫・運送を含む高付加価値物流への事業領域拡大

売上高100億円実現に向けた具体的措置—目指す成長手段（続き）

④AI、業務システム、データ活用を進め、見積・手配・貨物管理を標準化・高度化し、人員増加だけに依存しない生産性の高いオペレーションを実現する

⑤M&A・業務提携を活用し、倉庫、運送、専門人材、地域ネットワーク等の成長に必要な機能を機動的に獲得する

売上高100億円実現に向けた売上計画



国内物流拠点・自社輸送機能の整備、専門物流領域の拡大、海外事業の成長を加速